

# 令和8年度 学校経営の全体構想

中津川市立坂下中学校

## 学校教育目標 自立 共生 創造

### <保護者・地域の実態>

- ・学校教育に協力的である。
- ・中学生の貢献に期待している。
- ・山口・坂下・川上それぞれ地域の特色がある。「やさかの中学校」としての期待がある。

めざす学校像 誰もが通ってよかったと実感できる学校

楽しみがある 鍛えられる 挑戦できる

めざす生徒像 自己を見つめ、仲間と共に挑戦し続ける生徒

合い言葉 「超升先輩」後輩のあこがれとなる先輩 先輩を超えるよう努力する後輩

### <生徒の実態>

- ・全体的に素直で明るく生活できる。
- ・地域の行事やボランティア活動に参加する意欲がある生徒が多い。
- ・教師や仲間の力に頼る傾向がある。
- ・他校と比較すると、不登校率、欠席率が高い。

## 重点と具体

### 重点1

学ぶ楽しさと喜びを生徒が実感する授業

- 主体的な学習サイクルの起点となる授業の創造
- 学び合い鍛え合う学習集団の育成
- 個別最適な学びと共働的な学びの一体的充実

生徒・保護者授業評価  
肯定回答80%

### 重点2

自治力を育成する特別活動

- よりよい学校づくりの主体となる生徒会活動
- だれもが居心地のよさを感じる学年、学級集団の育成
- 個々の輝きを認め合う学校の風土づくり

学級満足度・学校生活意欲  
度年2回調査による向上

### 重点3

生徒の安心につながる教育相談及び支援体制の強化

- 全ての生徒に対する見通しのある支援
- 全ての生徒の学びを保障する支援体制の強化
- 日常的な教育相談の充実と、迅速な組織的対応

学びへのアクセス100%

### 重点4

自己の生き方を考えるキャリア教育

- 自己調整力の育成
- 夢の実現に向けた進路指導の充実
- 望ましい職業観や勤労観を学ぶ体験活動の充実

生徒アンケート「夢・目標・なりたい自分」に向かって  
努力度肯定回答80%

### 重点5

互いに生かし合う地域との連携

- 中学校区というとらえと、各地域の特色の尊重
- 地域での活動や貢献する機会の拡大（学校運営協議会を生かした活動）

学校評価肯定回答  
回答80%

特別支援教育の視点に立った指導 図書館教育を生かした指導

<地域の小学校統合に向けて> 「令和9年度から一小一中」

★3小学校閉校に係る中学生の貢献

★教育課程の見直し（総合的な学習の時間、連携した活動等）

★生徒の人間関係の変化への対応（スリンプログラムの充実、HyperQ-Uの活用強化）

### <教師の姿勢>

- 「あの先生に出会えてよかった」を生む信頼関係の構築。 ○学校を創る一員という自覚をもち、経営方針の理解に努める、自ら考える、働きかける。
- （個）学び続ける 変化に柔軟に対応する 自分の良さを発揮する教師 ⇄ （集団）学び合う アップデートし合う 自他の良さを生かし合う組織
- 不祥事根絶、コンプライアンス意識の向上、タイムマネジメント能力の向上

<学校評価システム> 学校関係者評価（職員による自己評価、生徒・保護者によるアンケート、学校運営協議会など）を実施  
→学校経営及び教育課程の編成、組織の改善、教職員の意識の改革、資質の向上  
※教職員は日頃から教育活動一つ一つにおいて評価意識、自己改善意識をもつ